

県教育委員会が行う各種調査の重複に関する調査 結果概要

教育総務課
 教学指導課

1 調査の趣旨

現在県教育委員会が学校を対象に実施している各種調査について、重複の有無等を確認し見直しを行うことで、学校現場及び教育委員会の事務負担軽減を図る。

2 調査方法

小学校 78 校、中学校 72 校、高等学校 29 校、特別支援学校 7 校を抽出し、県からの調査で重複のあるもの及び調査に関する要望等についてアンケート調査を実施した。

3 調査結果及び対応

		小学校	中学校	高校	合計
重複が指摘された項目 計		20	12	5	37
学校経営概要との重複		16	9	1	26
対応	見直し (いずれかの調査に統一)	8	2	1	11
	継続 (※1)	8	6	0	14
	廃止	0	1	0	1
その他の調査同士の重複		4	3	4	11
対応	見直し (いずれかの調査に統一)	0	2	1	3
	継続 (※2)	2	0	3	5
	廃止	2	1	0	3
合計		20	12	5	37
対応	見直し (いずれかの調査に統一)	8	4	2	14
	継続	10	6	3	19
	廃止	2	2	0	4

※特別支援学校について、重複の指摘はなかった。

(※1 の主な理由)

- ・ 文部科学省実施の調査 (公立小・中学校における教育課程の編成・実施状況調査、学校基本調査) と学校経営概要との重複であるが、学校経営概要は関連項目の把握も必要であり、一部の調査項目の統一が事務負担の軽減にはつながらないため・・・小学校 7 項目、中学校 6 項目
- ・ 詳細な項目の把握が必要であり、学校経営概要に組み込むことが出来ないため。また、調査の趣旨が異なり、調査項目の統一が事務負担の軽減にはつながらないため・・・小学校 1 項目

(※2 の主な理由)

- ・ 文部科学省実施の調査 (学校基本調査) と県単独調査との重複であるが、県単独調査は学校基本調査の確認と項目の詳細な把握を目的としているため・・・高校 2 項目
- ・ 一方の調査は一部の教育事務所がその地域性に鑑み独自に実施している調査であり、調査項目の統一ではその趣旨を果たせないため。また、他方の調査は経年変化を調べるために行っている調査であり、調査項目を維持する必要があるため・・・小学校 2 項目
- ・ 教員免許の失効を防ぐため。また、時系列の変化をとる必要があるため・・・高校 1 項目

4 その他調査に関する要望及び対応

意見	対応
調査期間が短いものがあるので、長めにとってほしい。	適切に設定できるようにする。
調査期間・期限が重複・集中しないようにしてほしい。	年度当初のデータを把握する調査が多いことから、当該時期の集中についてはやむを得ないのでご理解いただきたい。他の調査については調査時期等を配慮して行う。
県の調査と重複しているものが市町村や他団体（中体連、校長会、教育会等）からあるので、どこかで一本化してほしい。	可能なものについては他団体と調整を図る。また、「学校経営概要」については市町村教育委員会に調査項目について周知し、独自に集計・活用できるようにする。
回答の方法をプルダウン方式や選択式など簡単な方法にしてほしい。	選択式・プルダウン式・入力数値の制限などを取り入れ、回答の負担軽減に努める。

5 今後の方針

今回の調査結果を受けた見直しの実施状況について、来年度フォローアップを行う。